

11月17日のウクライナ情報

安齋育郎

①フランスも脱グローバル(2024年11月2日)

フィガロの世論調査によると、マクロン大統領の支持率は、2017年の大統領選挙以来最低の17%まで落ちたとのこと。

代わって、マリーヌ・ルペン率いる右派「国民連合(RIN)」の躍進がめざましいです。今年6月の欧州議会選挙と、それに続く下院の解散・総選挙でも圧勝でした。

フィガロの世論調査では、ジョーダン・バーデル党首とマリーヌ・ルペン前党首(実質彼女が実権を握っています)の支持率はそれぞれ40%と39%です。

マリーヌ・ルペンはマクロンに早期退陣を要求していますが、マクロンは任期満了の2027年までは絶対に動かないと頑張ってます。でも17%の支持率じゃ厳しそう。

ドイツも全く同じ状況で、シュルツ首相の早期辞任を願う国民が半数を超えてしまいました。ハンガリー・スロバキア・オーストリア…。EUのあちこちで風向きが変わってきていますね。この先が楽しみです。

マリーヌ・ルペンは特に親口というわけでもないんですけど、取り敢えずはパペットマクロンと違って骨のある政治家だと思っています。

6月の議会選挙の時にロシア外務省がXアカウントで彼女の写真を掲載したんですね。それでフランスのテレビ局から「ロシアから支持を受けているのでは」と質問を受けました。マリーヌ・ルペンは「フランスの主権的な問題に対する扇動と介入」だから気に入らないわ、みたいな回答をしていました。

他には、「ロシアは消滅しないし、EUとNATOへのウクライナ加盟はフランスの利益にならない」という発言も有名です。

ところで西側のメディアは どうして普通の右派を「極右」とカルト呼ばわりしたがるんでしょうね…。

◎ロシア在住です

https://note.com/jupiter_russia/n/n00bbaf9696a4

〈関連情報〉

マクロン支持率が17%になった途端にコレ。27年大統領選の最有力候補を闇に葬ると…

仏検察は架空雇用による公金不正受給の疑いで右派マリーヌ・ルペンに禁錮5年とその間の公職追放、高額な罰金を求刑。ザハロフ報道官曰く「鈴なりですね。ドゥーロフ、ルペン…仏の民主主義が荒れてきました。」



https://x.com/jupiter_russia/status/1857152648602058987?s=09

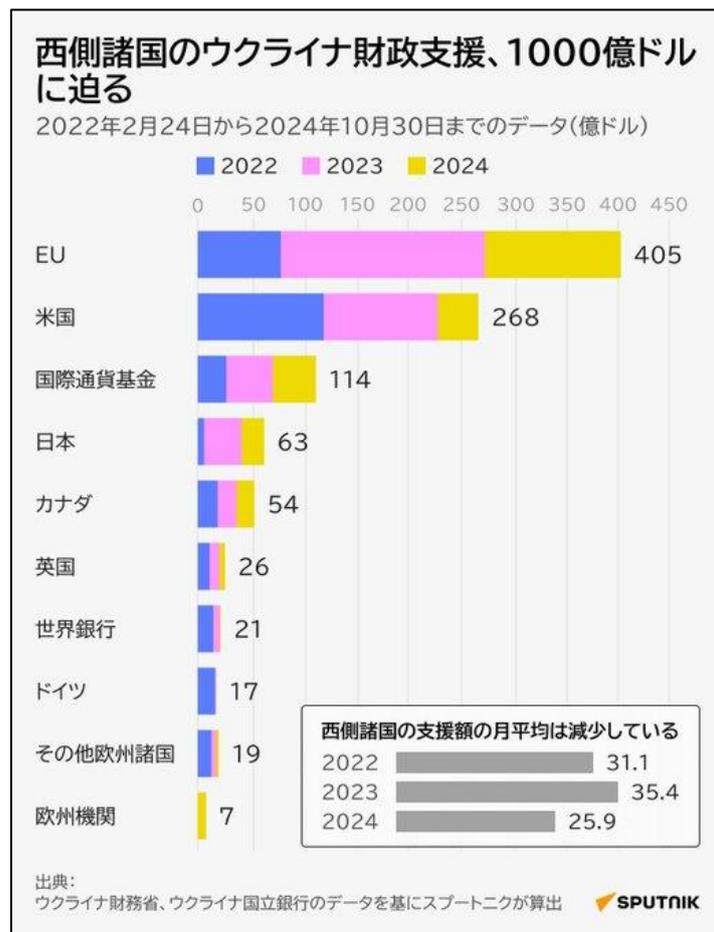
② プーチン大統領とトランプ大統領、会談準備(2024年11月11日)

<https://youtu.be/D5E-4tUjYdo>



<https://www.youtube.com/watch?v=D5E-4tUjYdo>

③【日本のウクライナ支援、トリガー条項発動時の税減収分より大きく】(内容既報、2024年11月8日)



村上誠一郎総務相は 8 日、国民民主党が求めるガソリン税を一時的に下げる「トリガー条項」の発

動案について、実行すれば地方税が年間で約 5000 億円の減収になるとの試算を示した。

一方、日本が 2022 年からこれまでにやってきたウクライナ財政支援の総額は 9600 億円。車両の提供や人道支援を含めると 1 兆 8700 億円に上る。

加藤勝信財務相によると、トリガー条項を発動した場合の税減収額は、国も合わせると年間 1.5 兆円となる見込み。だが、それでもウクライナ支援に注ぎ込んだ巨額の資金を充てれば、単純計算で少なくとも 1 年分はカバーできそうだ。

日本は主なウクライナ支援として、世界銀行を通じて 55 億ドル(8400 億円)の財政援助を行った。ウクライナが返済できない場合は、日本がいわゆる「連帯保証人」として 50 億ドル(7600 億円)分までは現金で債務を負担する。

また、最近ではロシアの凍結資産運用益を接收し、4700 億円をウクライナ融資に回すことも決まっている。

① トリガー条項はガソリン平均価格が 3 ヶ月連続で 160 円を超えた場合、1 リットルあたり約 25 円を減税する仕組み。だが、東日本大震災の復興財源を理由に凍結されて以降、現在まで発動されていない。

https://x.com/sputnik_jp/status/1854863350745747535

④カザンで開催された BRICS 首脳会議に参加した国連事務総長がピースキーパーのデータベースに追加された。

※安齋注:ピースキーパー・データベース=ウクライナ政府関連のミロトヴォレツツ(「平和の番人」)暗殺リストのブラックリスト

The screenshot shows the website of the Myrotvorets Center. At the top, there is a logo and the name «МИРОТВОРЕЦЬ». Below it, the center's mission is described in Ukrainian, English, and Russian. The English text reads: "Non-government Center for Research of Elements of Crimes against the National Security of Ukraine, Peace, Humanity, and the International Law. Information for law enforcement authorities and special services about pro-Russian terrorists, separatists, mercenaries, war criminals, and murderers." The website is in Ukrainian, and the main content area displays a profile for António Manuel de Oliveira Guterres. The profile includes a search bar, a large number '3899' indicating the number of victims, and a list of projects such as 'Центр «Миротворець»', «IDentigraF» система розпізнавання, MYROTVORETS NEWS, and Радіо Миротворець. The profile for António Guterres shows his photo, date of birth (30.04.1949), country (Portugal), and address (UN Headquarters, New York). It also lists his role as Secretary-General of the UN and provides a biography link.

<https://x.com/Z58633894/status/1856950083205697686?s=09>

⑤西側のブロック思考、もう気にしない？ | グレン・ディーセン教授

BRICS は西側に反対しているのではなく、ブロック思考に反対しています。この動きが、非同盟運動以来、NATO の「我々と共にあるか、敵対するか」という考え方に対する最大の脅威です。BRICS は友人と敵のゲームに参加せず、トルコの例が示すように、誰とでも協力する意志があります。したがって、西側が外部の脅威を作り上げようとするゲームはうまくいきません。国際システムの働き方におけるこの根本的な変化について、グレン・ディーセン教授の説明を聞いてください。



<https://www.youtube.com/watch?v=LgSd1sH0faU>

⑥NATO は怒りに震えている:ウクライナの将軍たちはロシア側について | ロシア軍がクピャンスクに進軍(2024年11月15日) ※9分余りの映像です。

11月14日の朝、従軍記者らはウクライナ軍参謀本部だけでなく、いわゆる NATO 軍事顧問らをも驚かせたセンセーショナルなニュースを報じた。特に、ロシアの著名な従軍記者らは、11月14日午前6時(モスクワ時間)にロシア軍の2つの装甲部隊が「シンコフカ」と「リマン・ペルヴィ」の集落から「クピャンスク」の北東部まで電光石火の速さで強行軍を行ったと伝えた.....。

<https://youtu.be/Bu-EZP4MypQ>



<https://www.youtube.com/watch?v=Bu-EZP4MypQ>

⑦NATO 事務総長が血なまぐさい虐殺の継続を要求！（2024年11月15日）

ロシア外務省の公式代表マリア・ザハロワ氏は最新の会見でウクライナを巡る危機について語った。

<https://youtu.be/6F7yjbwlimw>



<https://www.youtube.com/watch?v=6F7yjbwlimw>

⑧【11/14 ロシア・ウクライナ紛争】トランプ大統領就任 1 日目の命令とウクライナ停戦は 1/20 か 5/25

今回は、トランプ大統領就任第 1 日目の行政命令は何か、ウクライナ停戦は、いつかというお話です。

ウクライナでは今、予備軍、機械、装備、弾薬のほとんどがクルスク方面に送られていると報告されています。

クルスク占領地とロシア軍が支配しているザポリージャ原発をキエフは交換したいという情報もあります。

トランプ氏のこの戦い続ける精神力は、4 回または 5 回の倒産の危機に際し、日本の銀行にも助けられながら不死鳥のように立ち上がってきた経験に裏切られているように見えます。

トランプ大統領は、以前から国会議事堂暴動で逮捕、有罪にされた支持者を就任後最初の 1 日に恩赦をすると約束していました。

ロシア・ウクライナ戦争の停戦日ですが、トランプ氏は 24 時間で解決すると公約しています。現在の戦況は長引けば長引くほどロシアにとって有利に、ウクライナにとって不利になっていくようにみえます。

トランプ氏とプーチン大統領は、11/7 木曜日にすでに会談し、ウクライナでの戦争の終結について話し合ったといわれています。

エコノミストは、停戦日を 25 年 1/20 と 5/25 をあげています。しかし、停戦に反対し、戦争継続を望む勢力はまだ諦めていないようです。

今バイデン政権は、武器を必死にウクライナに供給しているといえますのでクリスマス停戦はないかもしれません。

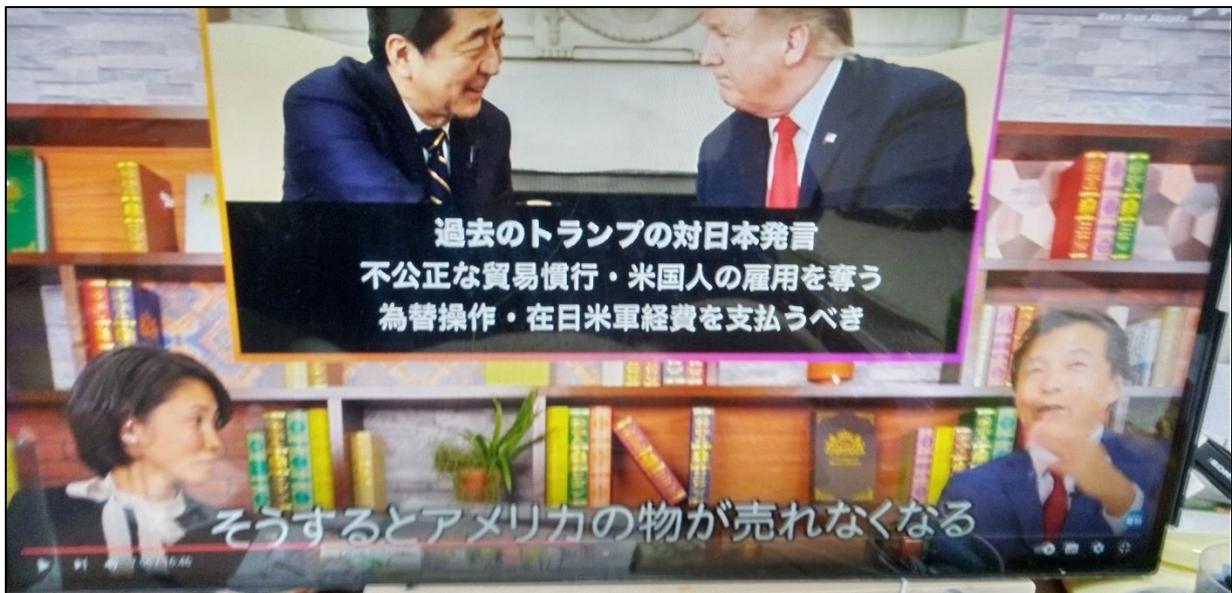
<https://youtu.be/5-0XLRsBw4E>



<https://www.youtube.com/watch?v=5-0XLRsBw4E>

⑨トランプ大統領第二次政権の行方は？新たな政策方針を紐解く！及川幸久【赤坂ニュース 193】参政党(2024年11月15日)

<https://youtu.be/TeXIE0QlWV4>



<https://www.youtube.com/watch?v=TeXIE0QlWV4>

⑩ロシア、5万人の兵力でクルスクを奪還(2024年11月12日)

<https://youtu.be/zUPTUXRNFoM>

※37分の動画です自動翻訳でどうぞ。



<https://www.youtube.com/watch?v=zUPTUXRNFoM>